

米沢地区卓球協会における大会開催のための新型コロナウイルス対策  
及び 選手権大会開催における留意事項

R2.7.16 審判部

○大会開催にあたっての基本的事項

- ・日本卓球協会ガイドラインの遵守
- ・会場となる施設（体育館等）の使用基準に従うこと
- ・参加する児童、生徒等は、在籍する学校を所管する市町教育委員会が定めた活動方針に従うこと（従うことが不可能な場合は大会に参加できない）
- ・3密の回避に努める

○施設、設備

- ・手指消毒剤の設置（協会として設置）  
会場入り口・各卓球台
- ・手洗い場にポンプ式の石鹸を設置する（協会として設置）
- ・卓球台の間隔を原則4m以上空ける  
卓球台は、南北方向に設置し、18台使用する
- ・競技中以外は、全員マスクを着用する
- ・原則（太陽光で試合に支障がない限り）窓は開放し、カーテンは閉めない
- ・出入り口も、解放したままとする  
北側出入り口は、使用せず閉めたままとする

○開館時・入館時

- ・開館前に玄関前へ群がらない  
間隔を開けて待機する。
- ・可能な限り所属（学校）ごとに入場し、代表者がまとめて「連絡先を記入した健康チェック表」を入場前に確認して大丈夫な者のみを入館させる  
→事前項目等で参加（入館）不可の者、当日の体調不良者は入館させない
- ・忘れた者がいる場合は、受付に申し出ること。
- ・選手、役員、所属の代表者（顧問の先生）以外は入館できない  
所属代表者（引率を含む）も各チーム2名までとする  
ただし、小学2年生以下の選手の保護者（各家庭1名まで）を除く  
→入館者全員（役員含む）は、健康チェック表を提出する  
所属代表がとりまとめ、受付に提出

○開会式、表彰式

- ・開会式前の練習は禁止（試合前の1分間練習の時間は確保する）
- ・開会式は簡素化する  
選手・監督等は観客席  
会長挨拶、選手宣誓等を行わず最小限の説明にとどめる。説明事項についても、できる限り事前又はプログラムと一緒に配布を行い、重要事項のみの説明とする
- ・表彰は一斉に行わず、種目ごとに間隔をとって行う

## ○試合進行

- ・開催種目はシングルスのみ
- ・すべてコールによる呼び出しで進行を行い、選手は各指定コートに直行する
- ・敗者は、試合終了後に速やかに、使用した試合球を持って進行席に試合結果報告を行う。報告後は、消毒済みの試合球を進行より受取り、コートに戻り敗者審判の任に就く。(注1)
- ・1試合ごとに消毒済みの試合球を使用させる(注2)

※注1, 2に関しては、大会当日変更になる場合があります

## ○対戦(競技)時

- ・対戦前後に手指の消毒を行う(選手・審判とも)
- ・試合前後の対戦者による握手は行わない(離れた状態でじゃんけん等によりサービス・エンドの選択を行い、必要に応じラバーは見せ合うに留める)
- ・第1ゲーム開始前に1分間の練習時間を与える
- ・チェンジエンドは一切行わない
- ・選手は、手で台に触れる行為や、靴底を触わる行為、ボールに息を吹きかける行為は行わない
- ・場外に出ていったボールは必ず選手自らが拾いに行く(拾ってあげない)
- ・汗拭きタオルは卓球台の脚にかけず、自分のバックや脱いだジャージ等の上に置いて使用すること
- ・フロアへの入場は選手・審判以外は認めない
- ・定期的に、卓球台・カウンター等の消毒を行う

## ○観客席・観覧席

- ・間隔をとって座る(2座席は空ける)
- ・客席移動は禁止(応援のための移動も禁止)
- ・声を出しての応援は禁止
- ・中学・高校の顧問の先生は観客席での生徒の指導をお願いしたい  
中学生は、試合が終わった生徒から随時可能な限り帰宅させていただきたい
- ・大会応援席配置図(別紙)参照

## ○その他

- ・大会主催者は上記事項を事前に参加者に連絡し、参加者も遵守する。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスへの感染症を発症した場合は、協会に対して速やかに、かつ必ず連絡を行うこと。